

あわじ花さじき 4月中旬～5月中旬
アイランドポピーの群生



あわじ花さじき 3月下旬～4月下旬
菜の花とムラサキハナナの花畑



500年の歴史をもつ淡路人形芝居



鳴門海峡の渦潮



伊弉諾尊神宮の本殿

東京駅発着 現地合流離団可 8名様～最大12名様限定
南あわじに2連泊 淡路の春の花々を楽しむ
鳴門海峡の渦潮、大塚美術館も見学 最大12名様

春の花咲く淡路島 国生み神話と 大塚国際美術館の旅 3日間

4月12日(月)～4月14日(水) ¥168,000

5月10日(月)～5月12日(水) ¥168,000

(2名1室利用の大人お一人の料金) お一人部屋希望は¥18,000

※3名様(洋室)4名様(和室)1室を希望の方は早めにお問い合わせ下さい。



大塚国際美術館外観

1 東京(08:51発) 新神戸(11:35着) 淡路島(南あわじ)
新幹線で新神戸へ。専用バスで明石海峡大橋を渡り淡路島へ。■**昼食は、鯛めし御膳をご用意しました。**午後、国生み神話の舞台「おのころ島」のひとつ●**絵島、イザナギとイザナミの二神より生まれた蛭児(ひるこ)命を祀る●岩樟(いわくす)神社**の見学。その後、菜の花、ムラサキハナナ、リナリア、ポピーなど、春の花が見頃を迎える○**あわじ花さじき**、国生み神話に登場するイザナギミコトとイザナミミコトを祀る日本最古の宮●**伊弉諾神宮**を見学。見学後、ホテルへ。■**お泊りは南あわじにある温泉大浴場完備の「ホテル&リゾート南あわじ」に連泊です。**

昼食 夕食 南あわじ:ホテル&リゾート南淡路(洋室)泊

2 南あわじ滞在
終日、南あわじ観光。日本発祥、日本の神々生誕の地●**おのころ島神社**、福良港より○**うずしおクルーズに乗船**し、鳴門海峡の渦潮を見学。■**昼食は、「道の駅うずしお」で、淡路牛会席をご用意しました。**午後、淡路人形座で500年の歴史を持つ○**淡路人形芝居(淡路人形浄瑠璃)**を鑑賞。鑑賞後、ホテルへ。

朝食 昼食 夕食 南あわじ:ホテル&リゾート南淡路(洋室)泊

3 南あわじ 新神戸(16:55発) 東京(19:36着)
午前、○**大塚国際美術館**を見学。有料の携帯型イヤホンガイド(旅行代金を含む)を利用し、自由見学となります。昼食は館内レストランにて自由食です。見学後、新神戸へ。途中、淡路島北部へ移動。世界的建築家の安藤忠雄氏が設計した「**淡路夢舞台**」にて、○**奇跡の星の植物園**を見学。夕刻、新幹線で東京へ。

朝食

- 日程内○太字観光地は入場観光、●太字観光地は下車、太字は車窓観光。
- 花の開花はその時の気候により前後します。満開の状態でご覧いただけないこともあります。
- コロナ感染の状況により、出発前に観光地の変更や食事内容や場所の変更などが発生する可能性があります。また、観光の順番を入れ替える可能性があります。



洋室の部屋(イメージ)



温泉露天岩風呂

ホテル&リゾート南淡路
洋室のお部屋(ツイン35㎡)をご用意。温泉露天岩風呂、大浴場完備のリゾートホテル。←地元の新鮮な食材を使った和食会席。

あわじ花さじきとは？

花の島にふさわしい花の名所として、兵庫県が平成10年4月から設置しています。淡路島北部丘陵地域の頂上部、標高298～235mの海に向かってなだらかに広がる高原に四季折々の花畑が広がります。

- 最少催行人員:8名 ■食事・朝2回、昼2回、夕2回
- 添乗員:東京駅から東京駅まで同行。
- 利用予定バス会社:みなと観光バスなど
- お部屋は基本洋室1室2名様または1室1名様(2ベッド)利用。3、4名様利用ご希望の場合は和室、または洋室にエキストラベッド利用となります。費用が追加でかかる場合がありますので、お早目にお問い合わせください。
- 写真提供:(公社)ひょうご観光本部
一般社団法人淡路島観光協会

お申し込みいただく前に「ご旅行条件」、各コース記載の募集要項、注意事項を必ずお読み下さい。